

接合科学研究所ロゴをリニューアルしました。



私たち大阪大学接合科学研究所（JWRI）は1972年の設立以来、「つなぐ」科学のおもしろさに魅せられ、探究と社会への貢献に取り組んできました。その研究領域は鉄やアルミニウムなどの金属を溶かして接合する「溶接」から、新たな素材の「接合」へ、そしてリサイクルを視野に入れた「分離」の領域にまで広げようとしています。モノとモノをつなぐことを科学してきた私たちは、その過程で人と人、世界をつなぎ新たなチャレンジを可能にしてきました。そして2024年4月、ロゴマークをリニューアルしました。この新しいロゴマークは「人、モノ、世界をつなぐ」というJWRIの姿であり、創立50周年において次の50年を見据えて掲げた「創る、集まる、育てる」というビジョンも現しています。そして「つなぐ」が未来を拓いていく、私たちはそう信じています。このロゴマークに込められた想いととも、さらなるつながりでモノづくりと社会の発展を加速させていきます。所内外からこのロゴが愛され、世界で親しまれるデザインになることを願っています。

令和6年4月

接合科学研究所 所長 藤井 英俊

<ロゴマークのデザインコンセプト>

デフォルメした溶接アークの形状をメインモチーフに、大阪大学のシンボルマークである銀杏およびヒトのシルエットを忍び込ませた意匠。3つの円環はロゴコンセプトである「人、モノ、世界」を表すと同時に、人を中心としてさまざまな要素が連携・循環している様子を表現しています。